

評価項目	重点目標	具体的な取り組み	主担当	実態(課題)	目指す姿	評価の達成度判断基準	判定	根拠となる資料	分析(成果と課題)及び改善策
確かな学力	①校内研修体制の確立	・月に一度の校内研修会の実施。 ・校内研究推進委員会の開催。 ・模擬授業と授業研究の実施。 ・指導主事計画訪問(6月)。 ・指導主事要請訪問(10月)。 ・校内サポート研修。 ・アシスト訪問(主に道徳)。	研究主任	・算数科における言語活動の工夫をし、基礎的な知識・技能の習得と活用する力を伸ばす。	・どの学年の授業も児童が既習事項を活用して、意欲的に算数の授業に取り組むことができる。	A どの授業も分かりやすく、充実した授業である。 B 分かりやすく、充実した授業が多い。 C 分かりやすく、充実した授業が半分程度である。 D 分かりやすい授業が少ない。	B	(児)学習が楽しいとする児童が97%、勉強がよくわかるも97%。(保)一方保護者からは学力向上に向けての学校の努力を概ね認めているが、10%は努力を感じないとしている。	授業に対する児童の印象は「楽しい」、「わかる」が多数である。一方、保護者からはまだ学校の努力が認められていない部分もある。一人ひとりの児童に確かな学力を身につけさせる取組の具体的な方策を考えていく必要がある。
	②家庭学習の質的向上	・家庭学習時間調査(年間3回)。 ・個に応じた学習指導。 ・学習の手引きの配布。 ・ノーゲームデーの実施。 ・定期的な自学ノートの交流。	研究主任	・家庭学習の習慣化と家庭学習の質の向上を図る。(一部に習慣が付いていない児童がいる。一人勉強の内容に不十分さがある。)	・低学年20分、中学年40分、高学年60分の家庭学習が習慣化している。 ・宿題の他に8割以上の子が意欲的に一人勉強に取り組んでいる。(読書を含む)	A 家庭学習を毎日自主的に行っている。 B 家庭学習が習慣化している児童が多い。 C 家庭学習が習慣化している児童は半数程度である。 D 家庭学習が習慣化している児童が少ない。	B	(児)家庭学習調査ではほぼ全員が目標時間に達している。(内)家庭学習について習慣化はしているものの、自主的に行うレベルには達していない。	自学ノートや宿題という形で家庭学習に取り組んでいる。学習時間については全学年が目標に到達している。しかし、自主的に行われているとは言いがたい。家でも自ら学習したいという児童に育つよう取り組んでいく。
	③学力調査等の活用	・西小タイムの実施。 ・学習カルテの書き込み。 ・校内テストの実施(年間3回)。 ・県、国学力調査を考察し、指導に生かす。 ・計算スキルタイムの実施。 ・過去問題への取組。	教務主任	・学力に個人差があり、学年に応じた学力が定着していない児童もいる。	・学年に応じた学力が身につけている。	A 通過率が低い分野の指導改善を行っている。 B 教科によっては、指導改善を行っている。 C 指導改善を全体の半分程度行っている。 D 改善はあまり行っていない。	B	(内)A評価5割、B評価5割。	4月の学力調査等の結果の分析から通過率の低い分野の指導改善を学校全体で取り組んでいる。8月の結果発表から再度見直し、指導方策を練り直した。今後引き続き指導改善を図っていく。
豊かな心	④あいさつや言葉遣い	・教科活動全体を通した道徳教育の推進。 ・家庭や地域でのあいさつの励行。 ・グッドマナーキャンペーンの実施。 ・地域の人との交流や言葉遣い。	生徒指導主事	・決まった時間と場所ではあいさつするが、状況が変わるとあいさつできない児童がいる。	・時と場所に応じて進んであいさつのできる児童になる。 ・正しい言葉遣いや相手を思いやる言葉がけができる。	A はっきりと、適切な言葉遣いや挨拶ができる。 B 適切な言葉遣いや挨拶ができる児童が多い。 C 身につけているが、声の大きさなど問題点がある。 D まだ適切な言葉遣い等ができない児童が多い。	B	(児)近所の人に会ったときに挨拶をしていると答えた児童が88%。(保)家庭で挨拶や返事がしっかりできるが4割。	子ども達はきちんと挨拶しているとする割合が9割ほどいる。一方で保護者からはしっかりできるとしているのが4割と開きがある。学校でも挨拶や言葉遣いについて良い習慣が身につくよう指導していく。
	⑤ボランティア・掃除活動	・海岸清掃活動。 ・毎日の掃除の時間(縦割り班)。 ・老人ホーム訪問。	清掃指導	・学校行事としてのボランティア活動には参加している。 ・決められた時間内の掃除はきちんとする。	・自ら進んでボランティア活動に参加しようとする。 ・日頃から学校の美化に努め、掃除の時間は掃除に集中して取り組む。	A 日頃から、自ら進んで清掃活動をしている。 B 時間中は、自ら進んで清掃活動をしている。 C 自分の係の範囲で清掃活動をしている。 D 指示をされて清掃活動をしている。	B	(児)進んで家の仕事をしている。の肯定意見が97%。(内)A評価が45%、B評価が55%。	児童の掃除の様子はどの子もまじめに取り組んでいる。掃除の時間中は進んで取り組んでいるといえるが、日頃から進んで取り組むような子の育成に取り組んでいかねばならない。
	⑥読書活動の充実	・図書委員会からの働きかけ。 ・お話会の実施(毎月2回図書ボランティア) ・読書冊数調査。 ・親子読書の呼びかけ。	読書指導	・ほとんどの児童は読書を好むが、一部落ち着いて読書できない児童もいる。	・読書冊数を更に伸ばし、読み聞かせ活動の充実により、読書の習慣をつける。	A ほぼ全員が学年に応じた読書に取り組んでいる。 B 学年に応じた読書活動に取り組む児童が多い。 C 読書に集中できない児童が数人見られる。 D 読書に取り組まない児童が多い。	A	読書冊数が年間の目標の50%クリアしている。(保)家で本を読む習慣がついているが75%。	休日に家庭への本の持ち帰りや6の付く日と23日の意識付けにより読書の習慣化を図る。児童と保護者の両者に働きかける。
	⑦きめ細やかな生徒指導	・生徒指導委員会。 ・いじめ対応アドバイザー派遣事業。 ・いじめ問題対策チーム力向上研修。 ・いじめに関するアンケートの実施。	生徒指導主事	・いじめや不登校はないが、児童間のトラブルは時々ある。	・いじめの早期発見・早期対応・未然防止に全力を注ぐ。	A 温かな人間関係の中で学級活動が行われている。 B 人間関係は、ほぼ良好である。 C 人間関係に問題のある児童が数人見られる。 D 全体のまとまりがない。	B	(保)楽しく元気に学校生活を送っているA評価7割、B評価3割。(内)B評価8割、C評価2割。	保護者アンケートからも十分良好という数値ではなかった。内部評価でもA評価が0であった。温かな人間関係の学級経営を目指す必要がある。
たくましい体	⑧体力向上プラン	・年間を通して週3回3分間走に取り組む。 ・体力テストの実施。 ・スポチャレへの取組。 ・校内マラソン大会。	体力向上担当	・体力はついてきているが、種目に応じた筋力や俊敏性に課題がある。	・90%以上の児童が体育が楽しいと答える。 ・週に3日以上自主的に運動しようとする。	A 体力づくりに十分努力している。 B 体力づくりにおおむね努力している。 C 体力づくりにどちらかというと努力していない。 D 体力づくりにほとんど努力していない。	A	毎週3回の3分間走に継続的に取り組んでいる。	春のスポーツテストの取組、体育指導員派遣事業の積極的活用、継続的な3分間走などに取り組んでいる。季節、行事に合わせた体力づくりの場の提供にも心がけている。
	⑨健康教育・安全教育	・地震、津波避難訓練の実施。 ・不審者対策避難訓練の実施。 ・むし歯予防指導、水難事故防止指導。 ・交通安全教室。 ・火事避難訓練の実施。 ・目を大切に、運動時の安全。	教頭	・大きな事故は起こっていない。	・個々の児童が基本的な危機回避能力を身につけている。	A 保健室にほとんど来室していない。 B 年間4～5回保健室へ来室する。 C 月平均1～2回保健室へ来室している。 D 頻繁に体調不良やけがで保健室へ来室する。	B	保健室の記録によって一人ひとりの児童の来室回数からB評価となる。	病気やケガによる保健室来室の数が前半B評価になった。病気やケガのないよう安全・健康に注意が払える児童に育つよう指導していく。
学校開かれたづくり	⑩地域の教育力の活用	・土曜授業で地域の人材を講師依頼。 ・地域の人材を活かした行事の実施。 ・サツマイモ苗植え・掘り。 ・公民館宿泊登校。 ・公民館行事への参加。	教務主任	・地域の教育力が強く、学校に協力的である。	・学校の教育活動に保護者、地域の方達が協力してくれる。	A 地域行事や公民館行事が十分できている。 B 地域行事や公民館行事が概ねできている。 C 地域行事や公民館行事があまりできていない。 D 地域行事や公民館行事ができていない。	A	年間を通して各公民館行事に児童が参加できる体制が十分整っている。(児)住んでいる地域の行事に参加しているが88%。	4地域の公民館を中心とした地域の行事は大変充実しており、子ども達の参加率も高い。児童はそれらの活動に進んで参加している。今後も地域の活動と学校が互いに協力して取組を進めていくことが大切であると考える。
	⑪地域・保護者・関係機関との連携	・年2回の学校公開。 ・年4回の授業参観。 ・PTA行事の実施。 ・社会体育大会。 ・学校ホームページの更新、学年・保健・学校便りの発行。	教頭	・地域ボランティアや保護者、関係機関からの協力を得ている。	・地域・保護者・関係機関と密接なつながりが継続される。	A 地域、保護者の方々は教育活動に満足している。 B 地域、保護者の方々は教育活動にほぼ満足している。 C 地域、保護者の方々は教育活動にあまり満足していない。 D 地域、保護者の方々は教育活動に不満がある。	B	(保)授業参観、PTA行事にはほぼ100%の参加率。(保)教育活動に対する厳しい意見もある。	地域・保護者の方々の学校行事への参加率は非常に高く、教育活動への理解・協力を感ずる。一方で、学校に対する厳しい具体的な意見も頂いている。後期はそれらの意見を真摯に受け止め改善を図っていく。
学組織運営	⑫組織体制の確立	・毎月1回の主任会議 ・毎週月曜日に校長、教頭、教務主任による連絡会。 ・各種推進委員会の定期的な実施。	教務主任	・主任の一層の機能化と組織の活性化。	・教頭と教務が中心となって各主任が学校運営に対する強い参画意識をもっている。	A 組織的な学校運営が十分できている。 B 組織的な学校運営が概ねできている。 C 組織的な学校運営があまりできていない。 D 組織的な学校運営ができていない。	A	(内)A評価77%、B評価23%。	学校が組織として機能し、年度当初の校長の学校経営方針に則った学校運営がなされている。後期の課題を出し合い、改善に向けて取り組む。
	⑬学校評価	・学校評価書の作成。 ・各種アンケートの実施。 ・学校評議員会の開催と説明。 ・自己評価と学校関係者評価の実施。	教頭	・学校経営方針の具現化をめざし、教育活動の改善を図っている。	・中間評価と最終評価を実施し、充実した教育活動がなされている。	A 学校経営方針の具現化をめざす学校評価となっている。 B 計画的に見通しを持った学校評価となっている。 C 学校評価が教育活動にあまり活かされていない。 D 学校評価が教育活動に活かされていない。	B	(内)A評価55%、B評価45%。	学校評価は、学校経営方針にしたがったものとなっている。一方で、項目毎の評価が複雑な感があり、アンケートとも連動したより客観的な評価のできるものに改善することが望まれる。

(児)児童アンケート、(保)保護者アンケート、(内)内部アンケート

学校関係者評価	・家庭学習については、家でも時間を守らせて勉強させるような厳しさを要する。・放課後の公民館での挨拶や言葉遣いは良くなってきている。・安全面では、体を動かすのが好きな子が多く、危険な事をしていたら随時教えていく必要がある。・地域と学校とのつながりが良く、地区の行事に積極的に参加しており、地区の評価も大変良い。・地区民との交流は郷土を愛する心を育てる良いチャンスであると思う。さらに積極的に行事に参加させて欲しい。	学校関係者評価を受けての対策	・家庭学習を充実させるために、年齢に応じた具体的な勉強法を示す。また、家庭への協力体制も工夫する。・安全に注意しながら児童の体力の向上を目指した取組を進める。・地域や人とのつながりを大切にして、あらゆる場面で豊かな心を育む。・地区行事等を積極的に活用し、郷土のことを知り、ふるさとを大切にする心を育む。
---------	--	----------------	---